## 第37回日本証券アナリスト大会 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*



## 開会の辞

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 会 長 小 池 広 靖 CMA 第37回「日本証券アナリスト大会」の開会に先立ちまして、主催者を代表し、ご挨拶申し上げます。

「日本証券アナリスト大会」は、日本証券アナリスト協会の認定アナリストであるCMAの役割を広く社会に認知していただくとともに、CMAの自己研鑽、相互交流を目的として、1986年以来、三十数年にわたり、毎年続いている歴史ある大会です。本年は当協会設立60周年という節目の年でもありますが、新型コロナウイルス感染症がいまだ収束していないことから、3年連続でのオンライン開催という形で実施することにいたしました。

さて、新型コロナウイルスにつきましては、変異株が次々に出てきて、感染者についても増加と収束を繰り返しております。100年前のいわゆるスペイン風邪も3年で沈静したようですので、今後、徐々に平常モードが定着していくことを願ってやみません。他方、本年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が、資源価格の高騰を招くとともにサプライチェーンにも多大な影響を与え、世界経済は引き続き不透明な状況にあります。そうした不安定な中にあっても、日本企業には、着実にデジタル化、脱炭素化を進め、生産性を向上させることが求められております。その生産性向上に向けた取り組みの最近のキーワードの一つが「パーパス経営」ではないでしょうか。本年の大会ではこれを取り上げ、テーマを「パーパス経営の実践一アナリストの役割は何か一」といたしました。パーパス経営を実践するのはあくまでも企業ですが、その企業の価値を評価するアナリストはどのような役割を担えるのか、大いに議論をしていただきたいと思います。まず記念講演につきましては、本年もお二人の方にお願いをしました。初めに、アカデミアの側から、パーパス経営に関する研究の第一人者でいらっしゃ

います京都先端科学大学教授名和高司氏に「資本主義から志本主義へ」というテーマでご講演いただきます。続きまして、企業経営者の側から、SOMPOホールディングスグループCEO 取締役代表執行役会長で経済同友会代表幹事でもいらっしゃいます櫻田謙悟氏より、「生活者 (SEIKATSUSHA) 共創社会の実現に向けて」というテーマでご講演いただきます。記念講演に続くパネル・ディスカッションでは、アイディール・リーダーズ丹羽真理氏に司会をお願いし、不二製油グループ本社代表取締役社長酒井幹夫氏、エーザイ取締役兼代表執行役CEO内藤晴夫氏、みさき投資代表取締役社長中神康議氏のお三方をパネリストにお迎えして、大会テーマ「パーパス経営の実践―アナリストの役割は何か―」についてご議論いただきます。今回のプログラムが、皆様に「パーパス経営」の新たな視点を提供する機会となれば幸いです。

さて、ここで当協会の近年の取り組みを簡単に紹介させていただきます。現在、CMAを保 有している方は約28,000名ですが、CMAへのニーズは多岐にわたる分野で高まっております。 CMAの方々は、金融・証券業界にとどまらず、一般事業会社の財務部門、IR部門、経営企画 などの管理部門、さらには社外取締役など、様々な分野で活躍されていらっしゃいます。この ように、CMAの役割が時代とともに大きく拡大していることを踏まえ、昨年6月より新しい CMAプログラムをスタートさせ、本年より新カリキュラムによる試験を開始しています。また、 CMAを持っている方の様々なキャリアパスを紹介するため、協会設立60周年記念企画として 「CMAのキャリア・デベロップメントを考える」というテーマで、一連のインタビューや座談 会の動画を配信し、情報提供に努めております。さらに、高齢化のさらなる進展など、金融機 関のお客様を取り巻く環境が変化し、プライベートバンカーに期待される役割や求められる知 識も大きく変化していることを踏まえ、PB資格制度の見直しも進めております。加えて、世 界的にESG情報開示基準作成に向けての動きが速いスピードで進展していますので、昨年、サ ステナビリティ報告研究会を新設して、その動きをフォローするとともに、積極的に意見を発 信しております。なお、講演会やセミナーにつきましては、新型コロナウイルスの感染状況に 応じて、動画のライブまたはオンデマンド配信、会場でのリアル開催などを取り混ぜ、柔軟な 運営をして参ります。

グローバル経済は、様々な面で変節点を迎えているようにみえます。そうした中で、当協会としても、新たな環境に即応してその社会的使命を果たしていきたいと考えております。今後とも、皆様の一層のご協力、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。最後に、本大会の企画、運営にご尽力いただいている渡辺委員長をはじめ、大会実行委員の方々に、この場をお借りして御礼を申し上げます。以上をもちまして、開会のご挨拶とさせていただきます。